

表彰を受けた善家さん



国民健康保険事業の発展に貢献

◎国民健康保険関係功労者厚生大臣表彰

国民健康保険事業の発展などに貢献した人に贈られる「厚生労働大臣表彰」の伝達式が11月8日、南予地方局で行われ、善家無事生さん・沢松さんが受賞しました。

善家さんは、平成元年に旧広見町の国保運営協議会委員に就任して以来、事業の健全運営などに尽力しています。

今回の表彰を受けた善家さんは「今後もより一層、委員として頑張りたい」と思いを新たにしています。

グループワークの様子



研修を通し交流と知識深める

◎認知症キャラバン・メイト養成研修

認知症サポーターの講師役であるキャラバン・メイトを養成するための研修会が10月30日、鬼北町近永公民館で行われ、町内外の医療・介護従事者、民生児童委員、行政職員など55人が参加しました。

会では、愛媛大学准教授の近藤誠氏を講師に、認知症の人やその介護者に対する支援方法、サポーター養成講座の企画や運営方法などを学びました。受講者からは「認知症についてより身近な問題として考えることができた」などの声があり、内容の濃い研修会になったようでした。

デザイン画を鑑賞する人



芸術作品の数々来場者魅了

◎第60回秋季県展移動展

愛媛県美術会主催の「県展」出店作品の一部を借りて町内で展示する「県展移動展」は、11月9日から13日までの5日間、広見体育センターで行われ、多くの人が鑑賞に訪れました。

会場には、絵画や書道など、124点の作品が展示されました。今回の移動展は、県展開催60回目という節目の年であることから、今まで展示がなかったデザイン画も多く出展されました。訪れた人は、芸術性に優れた作品の数々に目を奪われていました。

品評に出された農林産物



収穫の喜びで会場にぎわう

◎秋の大収穫祭&ゆずまつり

地元農家が自慢の農林産物を持ち寄って品評会などを行う「秋の大収穫祭&ゆずまつり」は11月3日、日吉産産地で行われ、町内外から訪れた多くの客でにぎわいました。

会場には、色鮮やかな柚子や、大きくできた大根などが並べられ、その出来の良さに多くの人が目を奪われていました。

その他、特設ステージでのイベントやさまざまな団体の出店などもあり、収穫の喜びとともに地元産品でできた料理などを味わっていました。